

新潟県総合計画評価・策定検討委員会 第6回全体会議 議事概要

1 開催概要

- (1) 日 時：令和7年1月27日（月）14：00～16：00
- (2) 会 場：新潟県西回廊2階 講堂（新潟市中央区新光町4-1）
- (3) 出席者：委員21名中、18名出席（うちWEB出席2名）

2 議事概要

(1) 事務局説明

議題(1)「新潟県総合計画案」、議題(2)「新潟県総合計画策定後の取組」について、事務局から説明を行った。

(2) 主な委員意見

事務局説明後の意見交換における主な委員意見は以下のとおり。

ア 新潟県総合計画案について

- 第6章の「地域を支える公共交通ネットワークの維持・充実」における成果指標「移動手段の確保が図られていると思う割合」の目標値について、現状維持ではなく、向上を目指すべきである。

イ 新潟県総合計画策定後の取組について

- 総合計画の内容を若者や子どもにもしっかりと伝えていくためには、分かりやすく、関心を持ってもらえるような工夫が必要である。また、彼らの意見を丁寧に聴き、今後の政策に活かしていただきたい。
- 県職員が総合計画の内容を理解し、人口減少の危機感や新潟県全体として何を目指していくかについて共通認識を持つことが重要であり、庁内における計画の周知にも取り組むべきである。
- 人口減少問題対策や地方創生について、若者世代とともに取り組んでいくことは重要だが、若者個人の考えについても尊重し、押し付けとならないよう配慮することが必要である。

ウ 今後の県政に対する意見等

- 人口減少が今後も不可避であることを踏まえ、人口減少が進むことを前提としたインフラ整備やコンパクトなまちづくりの推進などの施策を進めていただきたい。

- 若者が新潟に定住したり県外から戻ってくるためには、戻って来くなるような働く場が必要である。若者や子育て世代の収入、所得を伸ばすとともに、女性が働きやすい職場環境整備などに向けた取組を進めていただきたい。
- 新潟県は、様々な資源を有しており、非常に魅力ある地域と感じている。そうした魅力を広くPRすることで、国内外から優秀な人材を獲得することにもつながると考えるので、更なる本県の魅力発信に取り組んでいただきたい。
- 人口減少が進む中でも新潟県が豊かな自治体になっていく可能性は無限にあると考えており、出前講座などを実施する場合には、新潟県には夢があるということもぜひ伝えていただきたい。
- 次回の総合計画を策定する際の申し送り事項として、県民に総合計画を我が事としてもらうため、パブリック・コメントのみならず、県民の参画を仰ぐ機会を設けることも重要である。また、県民との距離が近い地域振興局も巻き込んで、県内の地域ごとのランドデザインを策定することも必要ではないか。

以 上